

起業に向け意見交換

釧路大のサークル 事業者招き懇談会

釧路公立大学の学生でつくる「起業家交流サークル」（横山侃世部長）が20日、同大学で、釧路市内の事業者らを招いた懇談会を開き、参加したサークルメンバーが起業に向けて議論を深めた。

同サークルは、将来的に起業を考えていた同大学1年の横山さんが、同じ志を持つ副部長の菊地匠海さんと出会い、昨年10月に結成した。「社長に会い、社長を学び、社長になる。」という合言葉に仲間が集まり、現在

は16人が所属。一方で、社長を目指すばかりではなく、活動を通じて自身の将来や地域活性化などについても議論を深めている。

この日は、サンエス・マネジメント・システムの中島秀幸さんと、シェアオフィスの運営などを手掛けるうつくしろの代表取締役相座聖美さんを招いて懇談。はじめに、出席したメンバーが自己紹介を行い、サークルに入った経緯や起業に対する考えを再認識した上

で、「なぜこの事業を行うおもうったのか」「起業する上で一番重要なことは何か」など、さまざまな質問を投げ掛けた。

中島さんは「ビジネスはニーズがないと成り立たないが、世の中は目まぐるしく変化しているのでチャンスはものすごくある。地域課題の解決などを考えてみてはどうか」とアドバイス。相座



さんは「足踏みしながら考えるのでもいいが、まずは何かを始めてみてはどうか。取り組むことで広がること、見えてくるものはたくさんある」などと助言した。

今回の懇談について、横山さんは「やりたいという思いは強いが、話を聞いた中で甘さを実感した。今後さまざまなことに挑戦していきたい」と語った。（須貝喜治）